

措置実施状況報告書

令和6年度分

会社名	友愛工業株式会社
代表者名	天川 修二
提出年月日	令和 7年 12月 22日

課・係	総務部
職・氏名	██████████
電話番号	055-263-4522
メールアドレス	██████████

担当者連絡先

◎提出〆切

※分割払い期間が5年の場合

年度	取組の期間	報告〆切
令和3年度分	令和3年7月29日～令和4年3月31日	令和4年12月31日
令和4年度分	令和4年4月1日～令和5年3月31日	令和5年12月31日
令和5年度分	令和5年4月1日～令和6年3月31日	令和6年12月31日
令和6年度分	令和6年4月1日～令和7年3月31日	令和7年12月31日
令和7年度分	令和7年4月1日～令和8年3月31日	令和8年12月31日
令和8年度分	令和8年4月1日～最終支払日※	令和8年12月31日

※ただし最終支払日が7月29日以前の場合は7月29日

1 談合事件を踏まえた、会社の経営理念

当社は、平成23年4月15日に、山梨県が発注する笛吹市を施工場所とする石和地区特定土木一式工事について、同業他社と受注予定者を決定し、受注出来るようにしていたことが独占禁止法に違反するとして、公正取引委員会から、排除措置命令と課徴金納付命令を受け、それに伴い山梨県から違約金の支払い請求もされました。この事により山梨県をはじめとし、各自治体、取引様各位、社員、従業員とその家族など、関係する多くの皆様に多大な御迷惑と御心配をお掛けする結果となり、当社と致しましても重く受け止め、誠に申し訳なく皆様に深くお詫び申し上げますと共に、心より反省しております。

当社は、今後二度とこの様な事態を招かないように、会社を挙げてコンプライアンスの徹底に取り組み、再発防止に努めていく所存であります。

当社はこれまで、各種団体への支援、ボランティア活動、災害支援等を通じて、地域経済に多大な貢献をして参りました。その貢献が評価され、多数の表彰や実績もあります。これからも活動を通じて、当社の資源を生かし、地域貢献活動や災害支援等に積極的に貢献し、地域の皆様から信頼される企業を目指し、さらには山梨県建設業界、山梨県全体の健全な経済の発展に大いなる貢献をしていきたいと思っております。

2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に二度と違反することがないよう自発的に講じた再発防止策の報告

(1) 取組期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(2) 取組の趣旨

- ア 独占禁止法に二度と違反しないためには、第一に、各社毎に違反行為の未然防止のための社内体制の整備と継続を行うことが不可欠である。
- イ 第二に、談合行為は複数当事者による違反行為であることを考慮すれば各社毎にのみならず、業界一体となつての再発防止策の取組みも不可欠である。

(3) 活動の概要

- ア 独占禁止法等法令遵守についての社内行動指針の作成(排除措置命令に基づき作成済)と社員、従業員への周知徹底。
- イ 自社の役員、営業担当に対する法令遵守の当社独自勉強会の実施。
- ウ 笛吹建設業協会における全会員の営業担当者若しくは、役員に対する定期的な独占禁止法研修会の実施。

(4) 主な活動の詳細

① 社員、従業員への周知徹底

実施日:令和6年4月11日
場 所:自社会議室
内 容:独占禁止法違反、再発防止について
参加者:役員2名 従業員15名
感想、課題:独禁法違反について研修し、社会的責任の大きさや社会的信用の欠落、経済的損失について再確認した。引き続き、社内教育の徹底、体制づくりを強化したい。

②法令勉強会

実施日: 令 6 年 4 月 19 日

場 所: 笛吹建設業協会 会議室

内 容: 独占禁止法違反、再発防止について

参加者: 関係企業役員 1 名

感想と課題: 独禁法違反による企業の損失の重大さを改めて感じた。課題として、各社毎の周知が必要である。



③法令勉強会

実施日: 令和 6 年 5 月 20 日

場 所: 笛吹建設業協会 会議室

内 容: 独占禁止法違反、再発防止について

参加者: 関係企業役員 1 名

感想と課題: 独禁法の改定により、改めて企業の損失の重大さを感じた。課題として、各社毎の周知が必要である。



④コンプライアンス研修会

実施日:令和6年6月18日

場 所:笛吹建設業協会 会議室

内 容:独占禁止法違反と官製談合防止法について

参加者:関係企業役員 1名

感想と課題:独禁法の改定により、改めて企業の損失違の重大さを感じた。課題として、各社毎の周知が必要である。



⑤法令勉強会

実施日:令和6年7月19日

場 所:笛吹建設業協会 会議室

内 容:独占禁止法違反、再発防止について

参加者:関係企業役員 1名

感想と課題:社会的責任の重要性、企業リスクについて理解を得られた。

各部門毎への周知をした。



⑥法令勉強会

実施日:令和6年8月22日

場 所:笛吹建設業協会 会議室

内 容:独占禁止法違反、再発防止について

参加者:関係企業役員 1名

感想と課題:独禁法違反による企業の損失の重大さを改めて感じた。課題として、各社
毎の周知が必要である。



⑦法令勉強会

実施日:令和6年9月19日

場 所:笛吹建設業協会 会議室

内 容:独占禁止法違反、再発防止について

参加者:関係企業役員 1名

感想と課題:会員各社が独占禁止法、改定について理解する事ができた。

課題として、毎年会員企業に対しての専門家を招いた研修会が必要。



⑧法令勉強会

実施日:令和6年10月22日

場 所:笛吹建設業協会 会議室

内 容:独占禁止法について

参加者:関係企業役員 1名

感想と課題:会員各社が独占禁止法、改定について理解する事ができた。

課題として、会社毎の周知が必要である。



⑨法令勉強会

実施日:令和6年11月20日

場 所:笛吹建設業協会 会議室

内 容:独占禁止法について

参加者:関係企業役員 1名

感想と課題:会員各社が独占禁止法、改定について理解する事ができた。

課題として、会社毎の周知が必要である。



⑩法令遵守等に関する研修会

実施日:令和6年11月27日

場 所:山梨県地場産業センター

内 容:建設業法令遵守等、建設業のコンプライアンスについて

参加者:関係企業役員 1名

感想と課題:談合・入札妨害や建設業法違反行為への制裁の具体例等、建設企業の経営に携わる際のコンプライアンスの重要性を学ぶ。独占禁止法の目的と仕組み、禁止行為や違反事件の審査手続き、違反した場合に受ける行政処分、違反事例等を学び、独占禁止法についての理解を深める。

⑪コンプライアンス研修会

実施日:令和6年12月19日

場 所:笛吹建設業協会 会議室

内 容:フリーランス(一人親方)・事業者間取引適正化等法について

参加者:関係企業役員 1名

感想と課題:業務委託取引について、発注者が守るべき義務と禁止行為について理解を深めた。

課題として、毎年会員企業に対しての専門家を招いた研修会が必要。



(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
① 自社勉強会		
光熱費	30,000	
人件費	90,000	10,000円×15名×半日(1/2)+15,000円×役員2名×半日(1/2)
資料代	315	18.5円×17名
小計	120,315	
② 法令勉強会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
③ 法令勉強会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
④ コンプライアンス研修会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
⑤ 法令勉強会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
⑥ 法令勉強会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
⑦ 法令勉強会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
⑧ 法令勉強会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
⑨ 法令勉強会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
⑩ 法令順守等研修会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
小計	15,000	
⑪ コンプライアンス研修会		
人件費	15,000	15,000円×役員1名
講師費用	50,000	
小計	65,000	
合計	720,315	

3 峡東地域において自発的に講じた防災・減災への対策に資する取り組みの報告

(1) 取組期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(2) 取組の趣旨

峡東地域(笛吹地域)における災害時への貢献や、災害時の行動を迅速かつ正確に行い、地域防災活動の知識の蓄積と有事の際の活動を円滑にするために行う取組災害の分類としては、地震災害、河川氾濫災害、台風災害、交通災害が考えられ、地域特性として、河川、台風、交通災害を重点として取り組む。

(3) 活動の概要

- ア 近年の台風の大型化、線状降水帯による大雨等により河川の氾濫確率は上がり、危険度は年々増しているため、河川内の堆積物の除去作業
- イ 災害時には、知識、設備、人材が必要であるため、災害の知識を得られる活動へ参加する。
- ウ 交通災害の抑止としては、日々の監視、管理が必要であるため、通学路等を中心に毎日のパトロールを行う。

(4) 主な活動の詳細

① 防災備蓄倉庫・水防倉庫の点検及び確認への参加

実施日: 令和6年7月11日

場 所: 浅川防災備蓄倉庫、境川水防倉庫

内容: 防災備蓄倉・資機材の点検、確認

参加者: 自社社員(10名)

感想と課題: 施設内の資機材、搬出方法の確認を行ったことで、県や建設業協会と情報共有でき、災害時の地域防災活動に円滑な行動がとれると感じた。引き続き参加し、災害に備えたい。

②石和温泉河川・道路一斉清掃参加

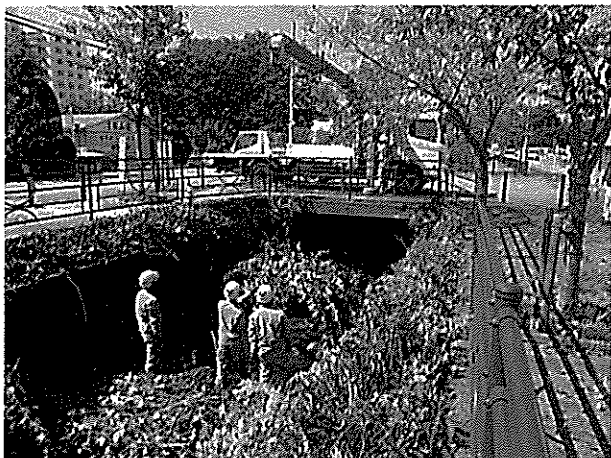
実施日:令和6年9月18日

場 所:石和温泉足湯広場

内 容:近津川及び周辺道路、空き地のゴミ拾い及び雑草撤去

参加者:自社社員(5名)

感想と課題:河川堆積物の除去と共に、笛吹市道路清掃、草刈を行った。河川の氾濫防止に継続して堆積物の除去清掃を行う事が必要と感じた。



③河川防災活動への参加

実施日:令和6年9月21日

場 所:御坂町金川の森 スポーツの森エリア内 治水広場

内容:水防への知識共有、災害対策の紹介

参加者:自社社員(3名)

感想と課題:河川災害の歴史、治水の為の工夫を再確認するとともに、災害時に迅速に対応する官公庁との連携確認も必要と感じた。

④河川防災活動への参加

実施日:令和6年11月11日

場 所:アピオ甲府

内 容:「地域防災の実践」「安全・安心な国土づくり」講演

参加者:自社社員(3名)

感想と課題:地域の防災・減災に資するインフラ整備や建設業界の課題などの理解を深めることが出来た。地域の建設業が持続的に発展できる社会環境の構築が必要だと感じた。

⑤ 笛吹川河道内樹木の伐木作業への参加

実施日:令和6年11月23日

場 所:笛吹川 笛吹市石和町市部地先 笛吹川河川敷

内容:伐木及び集積・草刈り作業

参加者:自社社員(10名)

感想と課題: 河川内の伐木・除草作業を行うことで、減災に繋がる取組ができた。定期的な実施が必要となる為、継続して行いたい。



⑥ 日々パトロール

実施日:令和6年4月1日～令和7年3月31日

場 所:笛吹市内

内容:通学路等の日々パトロール(朝夕1時間程度)

参加者:自社社員(5名)

感想と課題: 市内道路の認識と、笛吹警察署との連携により、人災や防犯の意識が高まった。社内意識として、災害時の緊急避難経路として道路が重要な役割を担っている事を再認識できた。また、警察署との連携を取る事で建設業者としての新たな役割を感じた。

⑦ 安全衛生パトロール

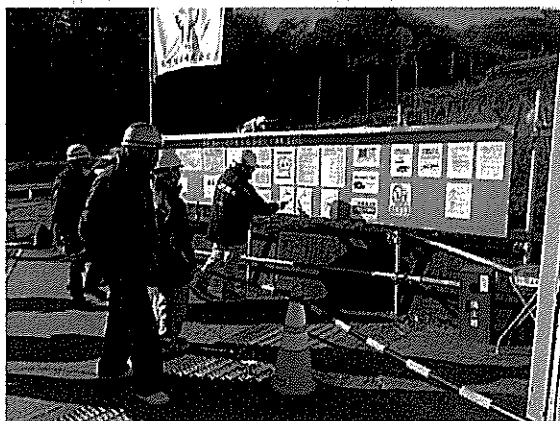
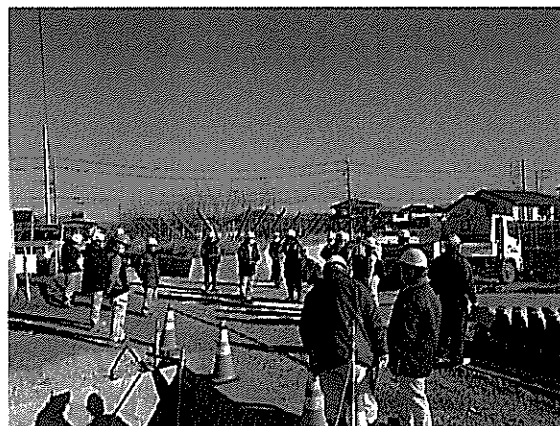
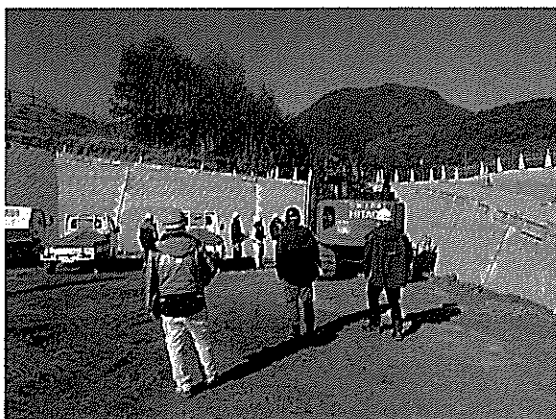
実施日:令和6年12月18日

場 所: 八千蔵・蕎麦塚地区 1-2・2 工区道路改良及び水路改修工事及び
農道1号2工区改良工事 その3 (株)
上岩下西部地区 農道1号改良舗装工事その1
梅沢・日向山工区区画整理工事その7

内 容: 峡東農務事務所発注工事の安全衛生パトロール

参加者: 自社社員(3名)

感想と課題: 現場での労働災害や事故を未然に防ぐ為の重要な活動であり、実際に作業中の現場をパトロールする事で危険箇所等を官民で情報を共有できた。課題として、今後も積極的な情報共有や自社内での安全作業につなげる事が必要と感じた。



(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
① 防災備蓄倉庫・ 水防倉庫の点検及び確認		
人件費	100,000	10,000 円 × 10 名
小計	100,000	
② 石和温泉河川・道路一斉清掃		
人件費	50,000	自社社員 10,000 円 × 5 名
刈払機	4,500	1,500 円 × 3 台
重機リース代	60,000	60,000 円 × 1 台
回送費	30,000	30,000 円 × 1 台
燃料費	33,000	軽油 200ℓ × ¥165
小計	177,500	
③ 河川防災活動への参加		
人件費	30,000	自社社員 10,000 円 × 3 名
小計	30,000	
④ 防災活動への参加		
人件費	30,000	自社社員 10,000 円 × 3 名
小計	30,000	
⑤ 笛吹川河道内樹木伐木作業		
人件費	100,000	10,000 円 × 10 名
重機リース代	60,000	60,000 円 × 1 台
回送費	30,000	30,000 × 1 台
燃料費	33,000	軽油 200ℓ × 165 円
小計	223,000	
⑧ 日々パトロール		
人件費	3,429,600	2,858 円(2 時間) × 20 日 × 12 ヶ月 × 5 名
AED 機材費	50,000	300,000 円/6 年 × 1 台 (3 年目)
運転手代	100,000	20,000 円 × 5 台
燃料費	210,000	1L × 175 円 × 20 日 × 12 ヶ月 × 5 台
小計	3,789,600	
⑨ 安全衛生パトロール		
人件費	30,000	10,000 円 × 3 名
小計	30,000	
合計	4,380,100	

4 雇用の維持、確保、事業の高度化、効率化への積極投資の取り組みの報告

(1) 取組期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(2) 取組の趣旨

- ア 人材不足が顕著となっている建設業において、人材の確保・維持は喫緊の問題となっているため、若手社員や、外国人技能実習生を積極的に採用し、資格取得支援や教育を行う。
- イ ICT 技術等の導入、活用により事業の高度化。効率化を図り、社員、従業員の業務量の低減を行う。
- ウ 雇用改善(給与、福利厚生)を行い、人材育成の維持を行う。

(3) 活動の概要

- ア 雇用改善(給与改善、福利厚生の向上)を行い、人材育成の維持を行う。
- イ 事業度高度化、効率化より省人化を行い業務量の低減を行う。
- ウ 雇用の確保の為に建設業の魅力発信として説明会への積極的参加。

(4) 主な活動の詳細

①事業の高度化、効率化を図る為の資器材導入

実施日: 令和6年4月1日～令和7年3月31日

場所: 各現場

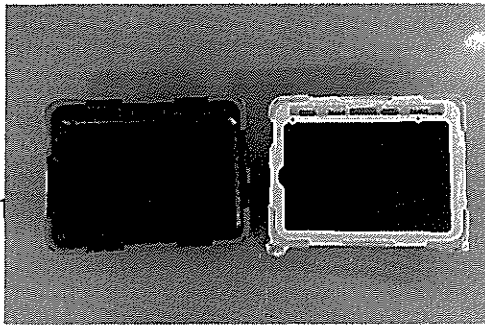
内容: タブレット端末、工事関係機材を導入し、作業効率の向上を図る。

感想と課題: ICT 技術の活用を積極的に行い、現場監理の効率化が出来た。

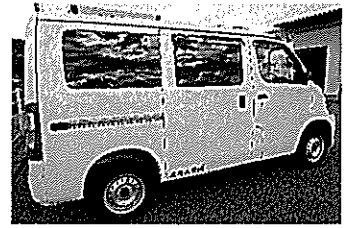
資機材の導入により、従業員の労力低減にもつながった。

課題として、社内で操作研修等を行い、機器の操作性や作業効率をさらに上げていく事が必要。

タブレット端末 2台



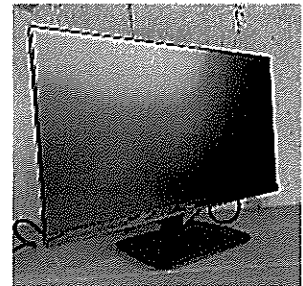
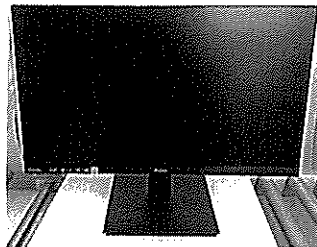
社用車 1台



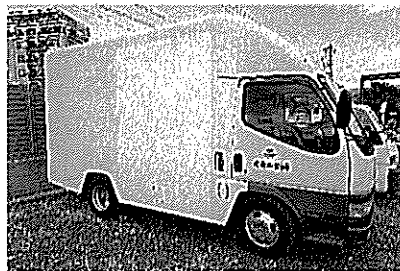
パソコン 3台



モニター 4台



ウォークスルーバン 1台



油圧ショベル



振動ローラ



②雇用・待遇改善

実施日：令和6年4月1日～令和7年3月31日

場所：自社

内容：雇用改善（給与、福利厚生）

感想と課題：雇用・待遇改善により、人材の維持と定着の向上がされた。継続できるように健全な会社運営が必要

③小学生を対象とした体験学習の開催

実施日：令和6年11月7日

場 所：笛吹市石和東小学校

内 容：建設車両への乗車、運転体験

参加者：1年生23人

感想と課題：小学生に実際に建設車両の運転体験を通じて、建設業への関心を持ってもらえた。将来の担い手確保に向けて引き続き体験活動が必要。



④小学生を対象とした体験学習の開催

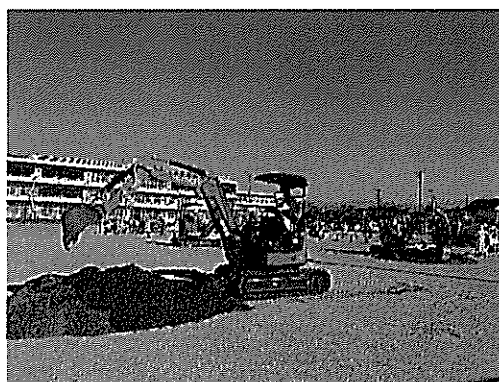
実施日:令和6年11月12日

場 所:笛吹市立南北小学校

内 容:建設車両への乗車、運転体験

参加者:1年生 35人

感想と課題:小学生に建設車両の運転体験を通じて、建設業への関心を持ってもらえた。将来の担い手確保に向けて引き続き体験活動が必要。



⑤従業員の資格取得支援

実施日:令和6年5月23日~5月24日、5月31日

場所:建設業労働災害防止協会

内容:車両系(整地)技能講習

参加者:従業員 2名

感想と課題:資格を持つ事で、自信や責任感が生まれ、現場作業時の効率化にもつながった。若手社員の教育に今後も取り組んでいきたい。

⑥従業員の資格取得支援

実施日:令和6年12月9日~12月11日

場所:建設業労働災害防止協会

内容:玉掛け技能講習

参加者:従業員 2名

感想と課題:資格を持つ事で、自信や責任感が生まれ、現場作業時の効率化にもつながった。若手社員の教育に今後も取り組んでいきたい。

⑦ 従業員の資格取得支援

実施日:令和6年9月9日~9月11日、令和7年2月17~2月19日

場所:建設業労働災害防止協会

内容:小型移動式クレーン運転技能講習

参加者:従業員 4名

感想と課題:資格を持つ事で、自信や責任感が生まれ、現場作業時の効率化にもつながった。若手社員の教育に今後も取り組んでいきたい。

⑧従業員の資格取得支援

実施日:令和6年10月21日、10月22日

場所:建設業労働災害防止協会

内容:ローラーの運転

参加者:従業員 3名

感想と課題:資格を持つ事で、自信や責任感が生まれ、現場技術者の増員につながった。引き続き資格取得支援に取り組んでいきたい。

⑨ 外国人実習生継続雇用

実施日:令和6年4月1日~令和7年3月31日

場所:自社

内容:雇用改善(技能実習生受入)

参加者:従業員 2名

感想と課題:技能実習生には技能検定資格取得を目標に、技能習得の指導を行っている。また、作業現場での人手不足解消につながったと感じた。今後も積極的に採用し、人材確保・維持に取り組んでいく。

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
① 資機材購入		
端末購入費	157,600	78,800 円×タブレット端末 2 台
端末購入費	869,388	181,500 円×パソコン3台 81,222 円×モニター4 台
油圧ショベル	6,499,900	6,499,900 円×1 台
振動ローラ	3,000,800	3,000,800 円×1 台
ウォークスルーバン	2,600,000	2,600,000 円×1 台
社用車	2,199,670	2,199,670×1 台
小計	15,327,358	
② 雇用・待遇改善		
福利厚生費	1,440,000	退職金積立(建設業退職金共済)18 人
福利厚生費	481,731	医療保険(アクサ生命)14 人
福利厚生費	174,720	(商工会かいじ共済)14 人
小計	2,096,451	
③ 小学生体験学習		
人件費	13,000	13,000 円×役員 1 名
小計	13,000	
④ 小学生体験学習		
人件費	10,000	10,000 円×1 名
小計	10,000	
⑤ 従業員の資格取得支援		
人件費	20,000	10,000 円×2 名×1 日
受講費用	92,400	車両系整地技能講習 46,200 円×2 名
小計	112,400	
⑥ 従業員の資格取得支援		
人件費	40,000	10,000 円×2 名×2 日間
受講費用	46,200	玉掛け技能講習 受講料 23,100 円×2 名
小計	86,200	
⑦ 従業員の資格取得支援		
人件費	120,000	10,000 円×4 名×3 日間
受講費用	158,400	小型移動式クレーン運転技能講習 39,600 円×4 名
小計	278,400	
⑧ 従業員の資格取得支援		
人件費	60,000	10,000 円×3 名×2 日間
受講費用	56,100	ローラーの運転 18,700 円×3 名
小計	116,100	
⑨ 外国人技能実習生雇用		
組合費	132,000	11,000 円×12 ヶ月
組合監理費	1,017,600	42,400 円×12 ヶ月×2 名
2号移行費用	74,580	37,290 円×2 名
在留資格更新費用	33,000	16,500×2名
試験費用	46,860	23,430×2名
小計	1,304,040	
合計	19,343,949	

5 報告した経費の累計

年度	2の経費	3の経費	4の経費	経費合計(円)
令和3年度	672,125	27,255,900	15,477,257	43,405,282
令和4年度	829,310	3,727,800	49,419,008	53,976,118
令和5年度	671,259	3,685,300	16,676,896	21,033,455
令和6年度	720,315	4,380,100	19,343,949	24,444,364
令和7年度				
令和8年度				
合計				(5) 142,859,219

○公正入札違約金額等

(円)

公正入札違約金額 (1)	131,556,160
調停条項で定めた令和3年内支払い額 (2)	1,950,140
調停条項で定めた分割支払い分総額 (3)	32,889,040
(1)と(2)及び(3)の差額 (4)	(1)-(2)-(3) 96,716,980
再発防止・地域貢献に要した経費の累計 (5)	142,859,219
(4)と(5)の差額	(5)-(4) 46,142,239